

活力とあたたかさ あふれる市政に。

みやじま^{けん}謙**6**つの全力!

▣ 市民に愛される図書館・文化交流センター整備に全力!

現在の複合交流拠点整備計画は、場所や施設の内容に多くの問題があります。この計画は全面的に見直し、より多くの皆さまが徒歩や自転車でも行ける市街地中央に、市民に愛される図書館・文化交流センターの整備を進めて参ります。

▣ 高齢者外出支援強化と交流拠点・避難所確保で「安心して住み続けられるまちづくり」に全力!

地域の高齢化、過疎化が進んでいます。今こそ、いつまでも「安心して住み続けられる」地域づくりが必要です。旧小学校区ごとのコミュニティ施設・避難所の整備、地域担当課の創設によるきめ細やかな見守り体制の構築、乗り合いタクシーの値下げ・拡充等で、安心して、健康的に暮らしていけるよう、医療・介護・福祉の充実・向上をめざします。

▣ 充実した子育て・教育支援で「住みたいまちナンバーワン」に全力!

地域の未来を担う子どもはまちの一番の「宝」であり、子育てや子どもの教育は、最も大切な施策です。「少人数教育」による質の高い教育、地産地消で実現するオーガニック給食による質の向上、18歳以下医療費完全無料化、中学校通学自転車助成等、子育て世帯を強力に応援する、「住みたいまちナンバーワン」をめざします。

▣ 生活道路の積極整備で生活利便性向上に全力!

皆さまからお預かりした税金は、「地域力」を高めるために活かしていくことが重要です。市民の命とくらし、雇用を守り、市民生活の利便性向上や交流の活発化、地域経済の基礎力を高めるために、生活道路の整備（危険道路、狭隘道路の改良、通学路の安全確保、歩道整備等）を積極的に推進して参ります。

▣ 農水産業の徹底支援と「かすみがうらブランド」のセールスに全力!

農水産業は、かすみがうら市の基幹産業です。高齢化や後継ぎ不足等、様々な課題解決とさらなる発展を図るために、農業の組織化・法人化を積極的に推進し、農業をめざす若い人たちの雇用や未来へとつなげて参ります。同時に、「かすみがうらブランド」の発掘・育成、そして市長がPR・セールスの先頭に立つことで、地域経済の振興とまちの活性化、雇用の創出を図ります。

▣ 土浦市との合併協議スタートで、さらなる活力に向け全力!

神立駅を結節点として生活圏を共有する「かすみがうら市」と「土浦市」は、まさに家族同様の関係です。大消費地の「土浦市」と農業が盛んな「かすみがうら市」が一緒になれば、『地産地消・最先端のまち』となり、さらなる飛躍への可能性が大きく広がります。「18万都市」の誕生で、活力あふれる未来を実現しましょう!



活力とあたたかさ

あふれる市政に。

みやじま けん



Q みやじま 謙

検索

後援会入会討議資料

プロフィール

1963年(昭和38年)8月8日生まれ

明治学院高校、明治学院大学へ進学後(中退)、印刷会社勤務を経て出版業界へ(政治、経済、健康、スポーツ、教養など様々な雑誌を担当)。

2010年(平成22年) 結婚により宮嶋姓となり、家業の牧場に就業。

2015年(平成27年) かすみがうら市議会議員に挑戦し、初当選。

2018年(平成30年) かすみがうら市長選挙に立候補するも惜敗。

2019年(平成31年) かすみがうら市議会議員(二期目)。

主な役職

- 霞ヶ浦ライオンズクラブ会長 (2017-2018)
- フードバンク茨城会員
- 大井川和彦後援会 かすみがうら・やわら会会長

趣味

読書、自転車、音楽鑑賞

好きな言葉

情熱

家族

妻、長女(6歳)、長男(4歳)、義父母

みやじま謙後援会

〒300-0214 茨城県かすみがうら市坂4335

TEL.029-896-1278 FAX.029-896-1189

<https://miyajima-ken.jp/>



少子高齢化、人口減少問題、さらには新型コロナウイルス感染症、頻発する自然災害など、目まぐるしく変化する社会状況の中で、今後、自治体が生き残っていくためには、常に「市民目線」で、市民の声に耳を傾け、臨機応変かつ柔軟に対応できる行政でなければなりません。

私、みやじま謙は、活力とあたたかさにあふれ、子どもたちからご年配の方々まで、すべての市民の皆さまの未来が夢と希望に満ちあふれ、この街に生まれ、育ち、学び、住み、働いて「よかった!」と実感できる市政の実現をめざして参ります。

市民、市議会、市民の財産である市職員が一丸となって、「くらし満足度ナンバーワン」の市政を創っていかうではありませんか!

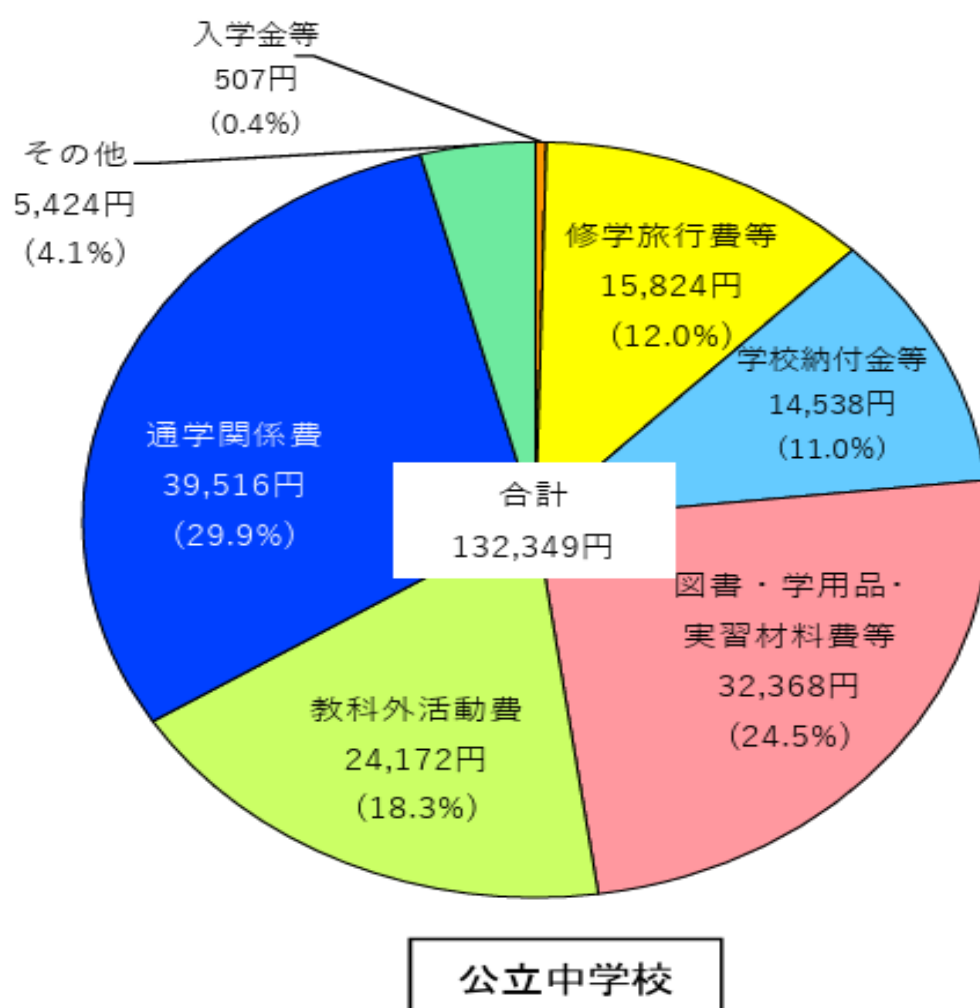
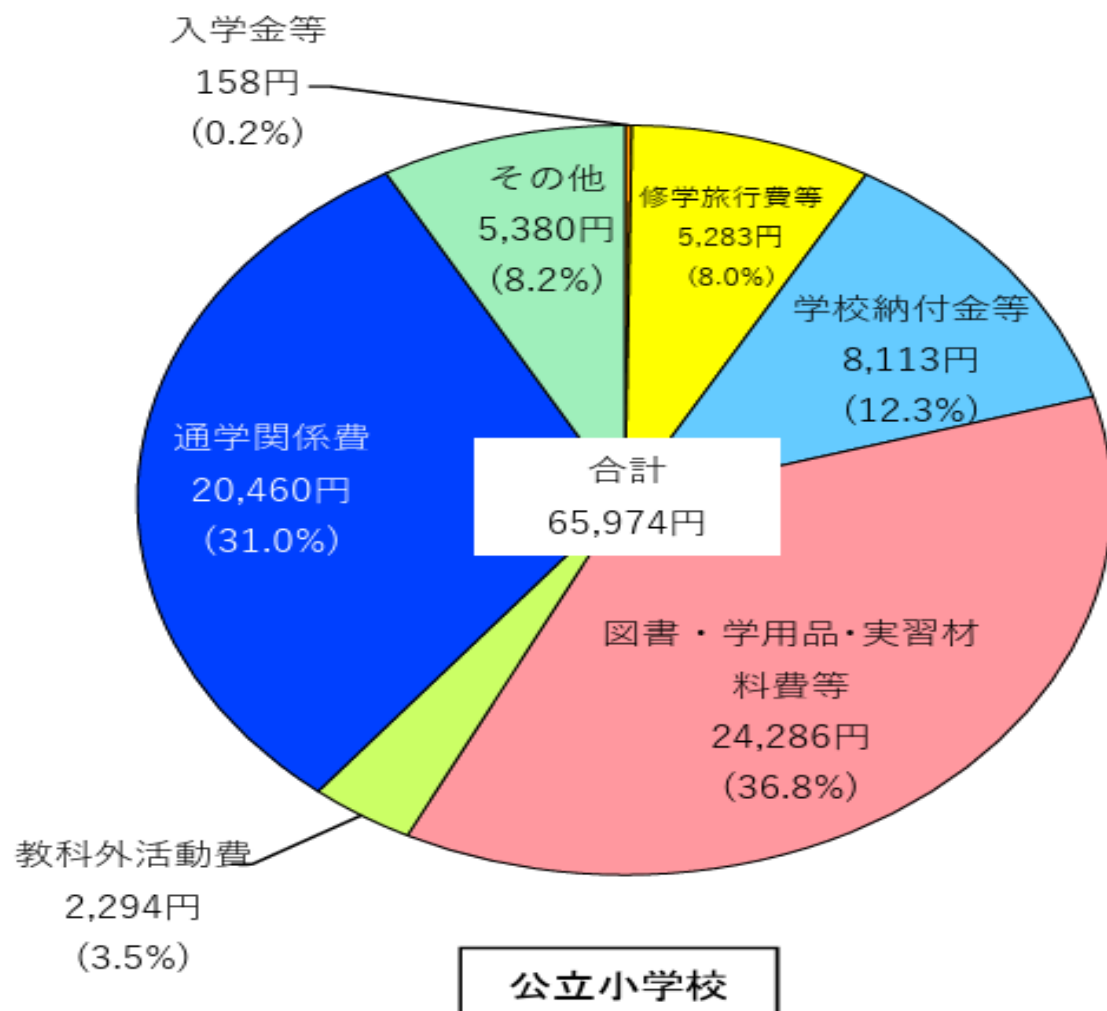
どうか皆さまのあたたかいご理解と力強いご声援を心よりお願い申し上げます。

みやじま 謙

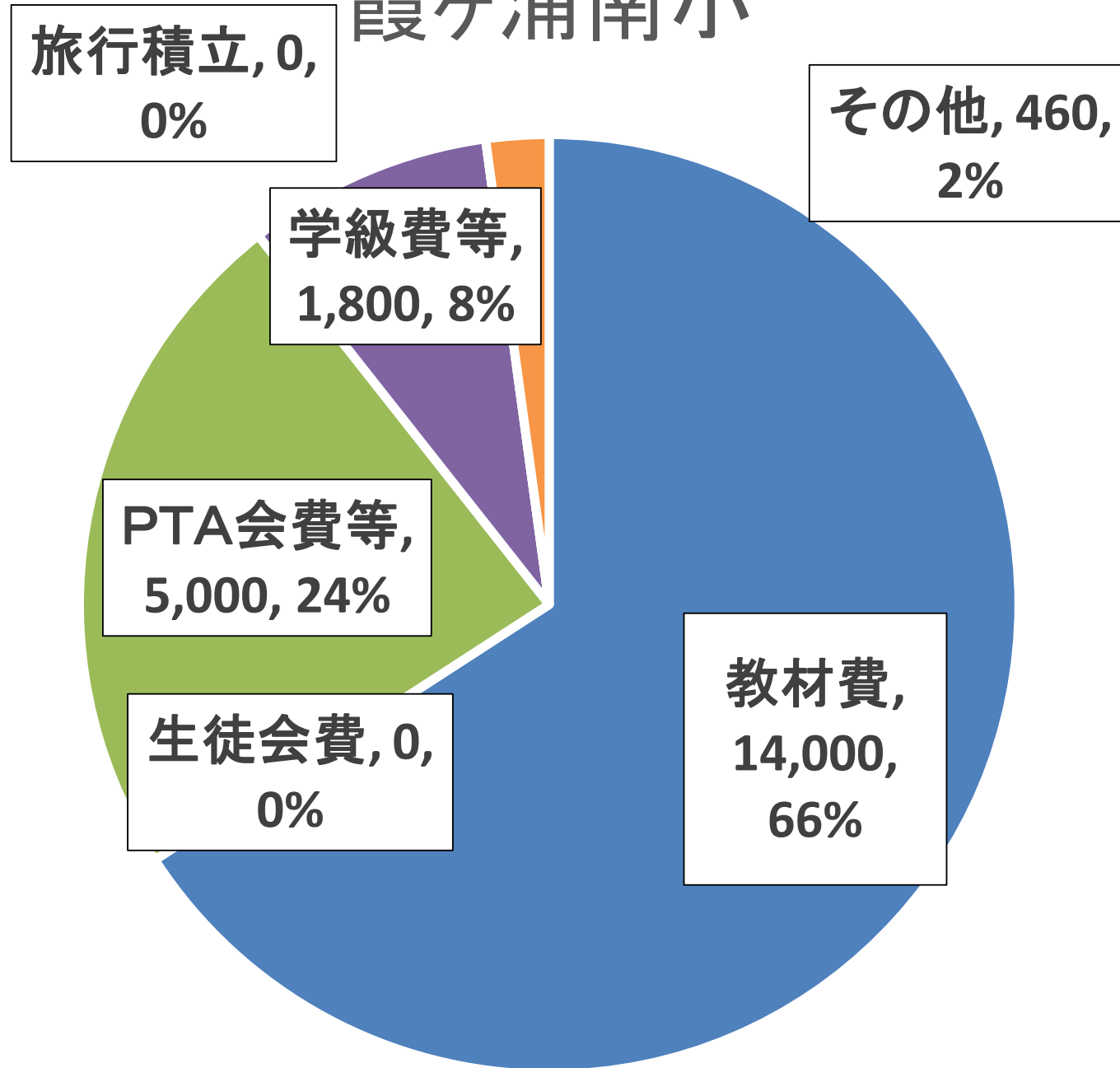
学校給食 無料を広げよう

日本共産党県議団の調べで、県内44市町村のうち20自治体が学校給食費無償化（水戸市、牛久市、小美玉市、茨城町は中学生のみ）を実施するほか、7自治体が期限や条件付で上乗せ補助を実施。県議団は、県として無償化のための補助創設を求めています。保護者負担金は下記のとおりです（2024年4月現在）。変更や相違がありましたらお知らせください。県議団 ☎029-301-1387

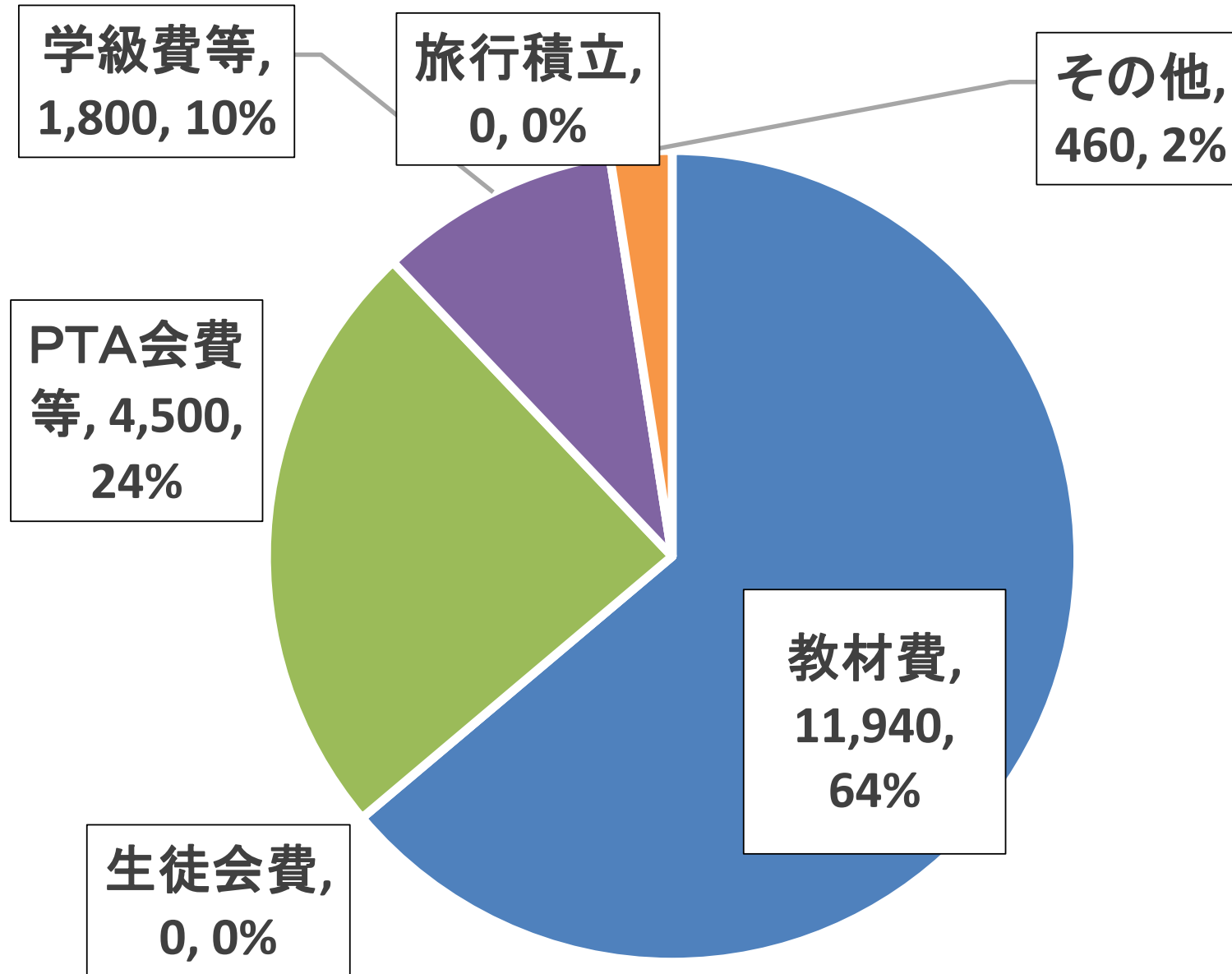
小学校(月額) 中学校(月額)			小学校(月額) 中学校(月額)			小学校(月額) 中学校(月額)		
水戸市	半額に軽減	無償化	鹿嶋市	小・中に3人以上在籍で第3子～無料		美浦村	4,400	4,700
笠間市	第3子のみ無料		潮来市	無償化	無償化	阿見町	4,100	4,550
ひたちなか市	4,300	4,700	神栖市	2024年度は無料		河内町	無償化	無償化
常陸大宮市	3,500	3,900	行方市	4,000	4,300	利根町	無償化	無償化
那珂市	4,300	4,700	鉾田市	無償化	無償化	古河市	無償化	無償化
小美玉市	3,400	無償化	土浦市	無償化	無償化	結城市	4,250	4,650
茨城町	4,000	無償化	石岡市	無償化	無償化	下妻市	3,675	4,175
大洗町	第2子1/3・第3子1/2補助、第4子～無料		龍ヶ崎市	4,320	4,731	筑西市	無償化	無償化
城里町	無償化	無償化	取手市	4,570	5,080	坂東市	小・中に3人以上在籍で第3子～無料	
東海村	4,200	4,600	牛久市	4,320	無償化	桜川市	高校生まで子ども2人以上で第2子～無料	
大子町	無償化	無償化	つくば市	4,100～4,300	4,700	常総市	3,800	4,200
日立市	無償化	無償化	守谷市	4,207	4,536	八千代町	無償化	無償化
常陸太田市	全員半額		稲敷市	無償化	無償化	五霞町	3,850	4,260
高萩市	第2子半額、第3子～無料		かすみがうら市	第2子～無料		境町	無償化	無償化
北茨城市	無償化	無償化	つくばみらい市	3,700	4,300			



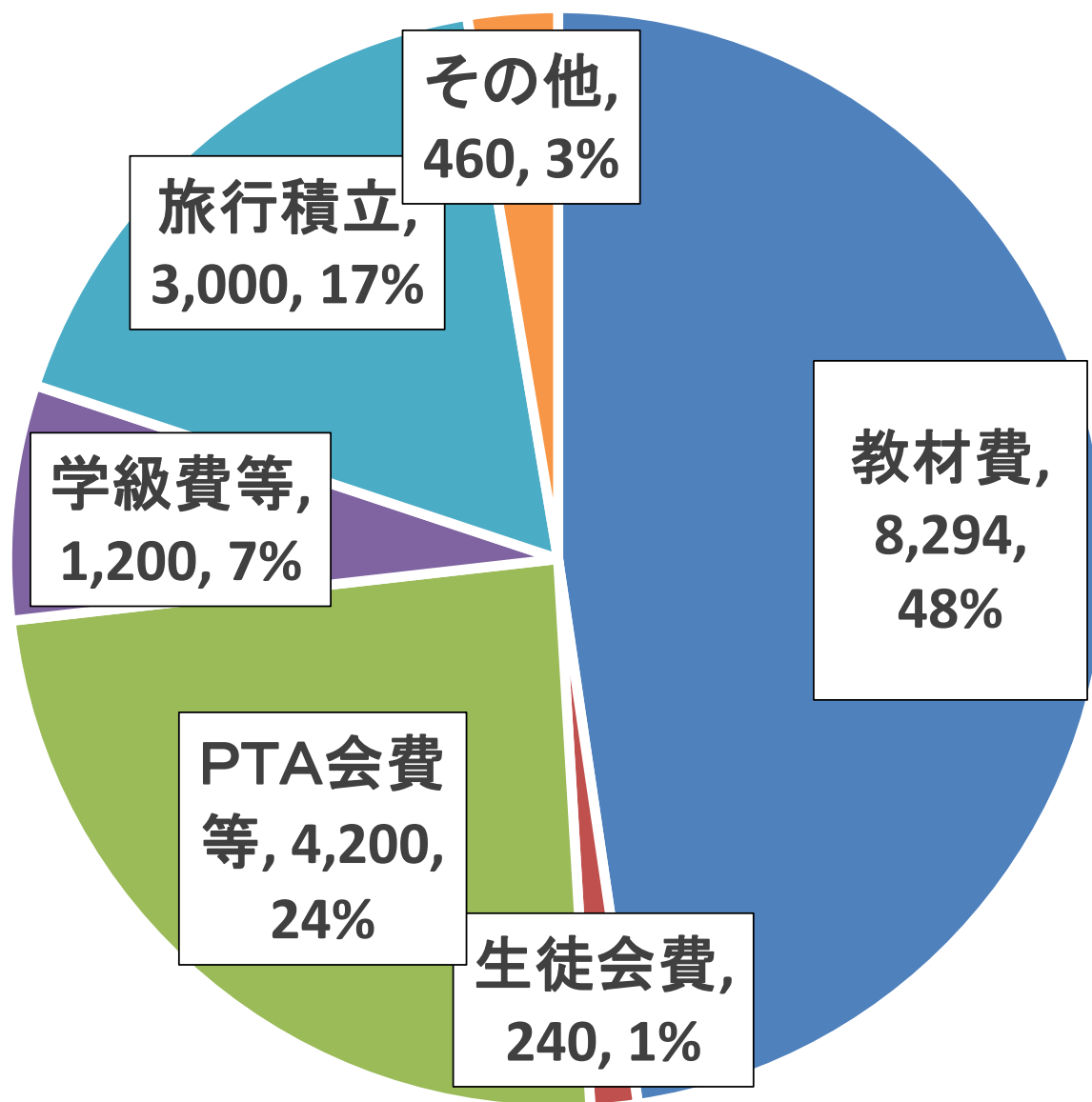
霞ヶ浦南小



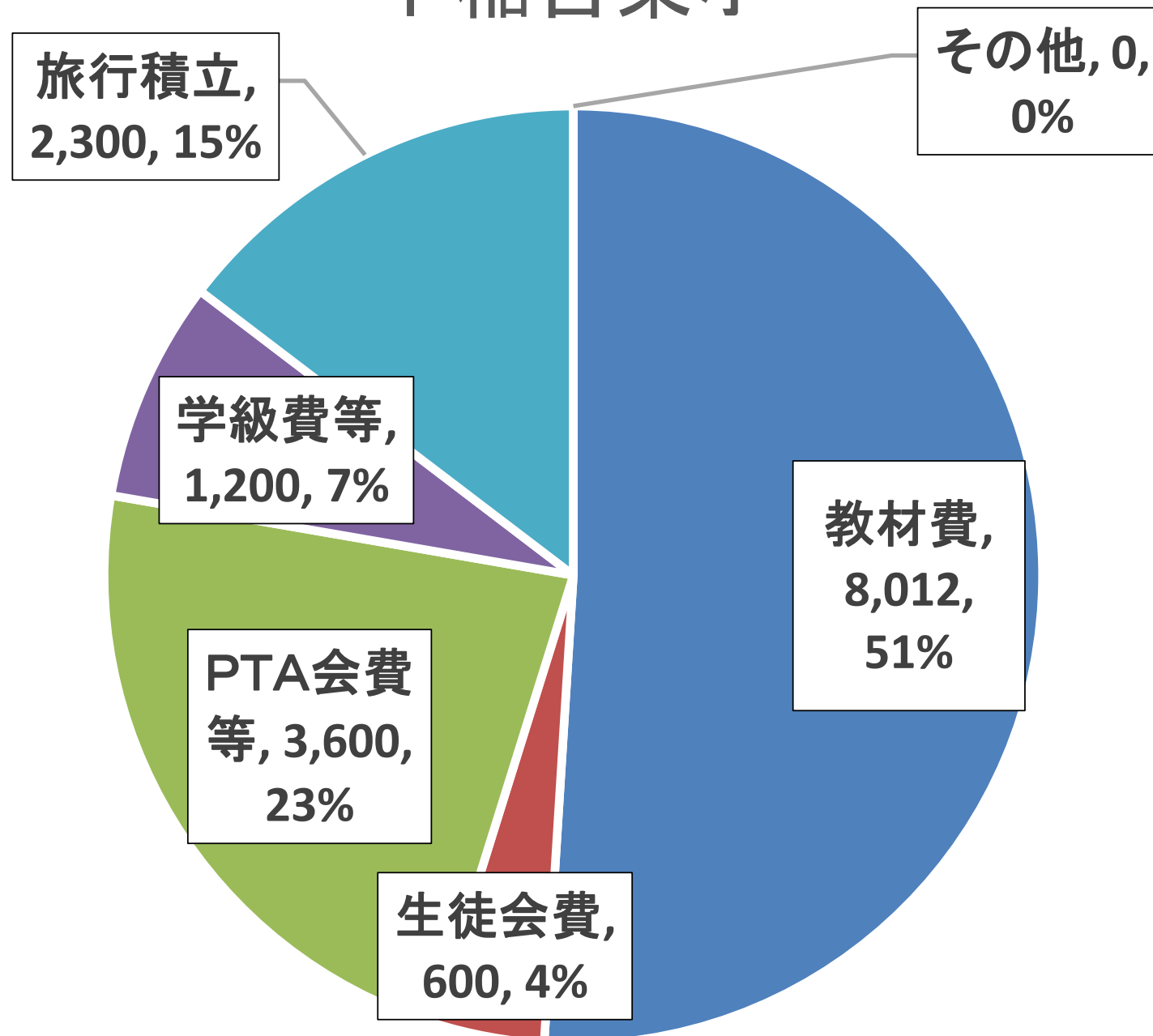
霞ヶ浦北小



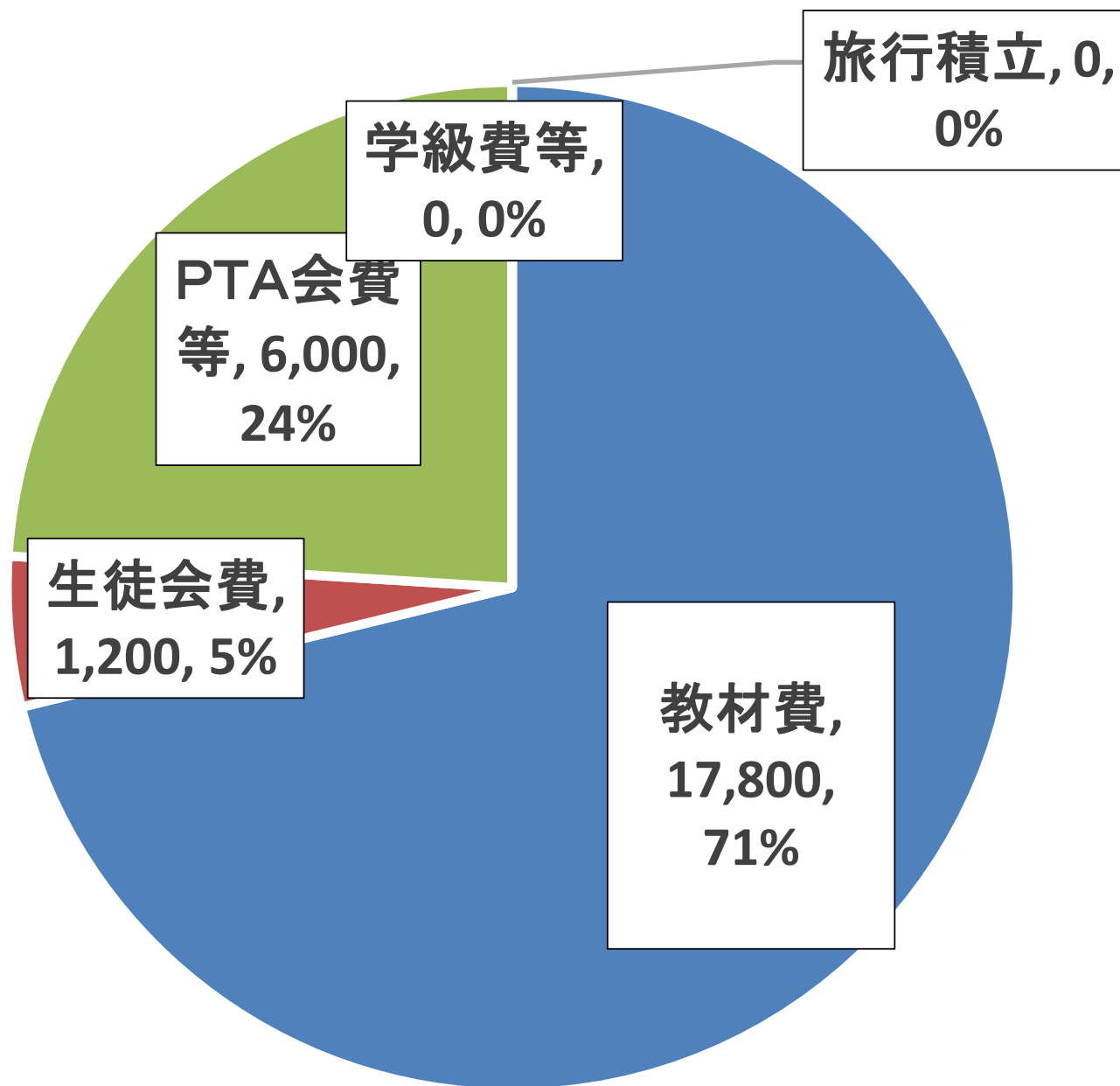
下稲吉小



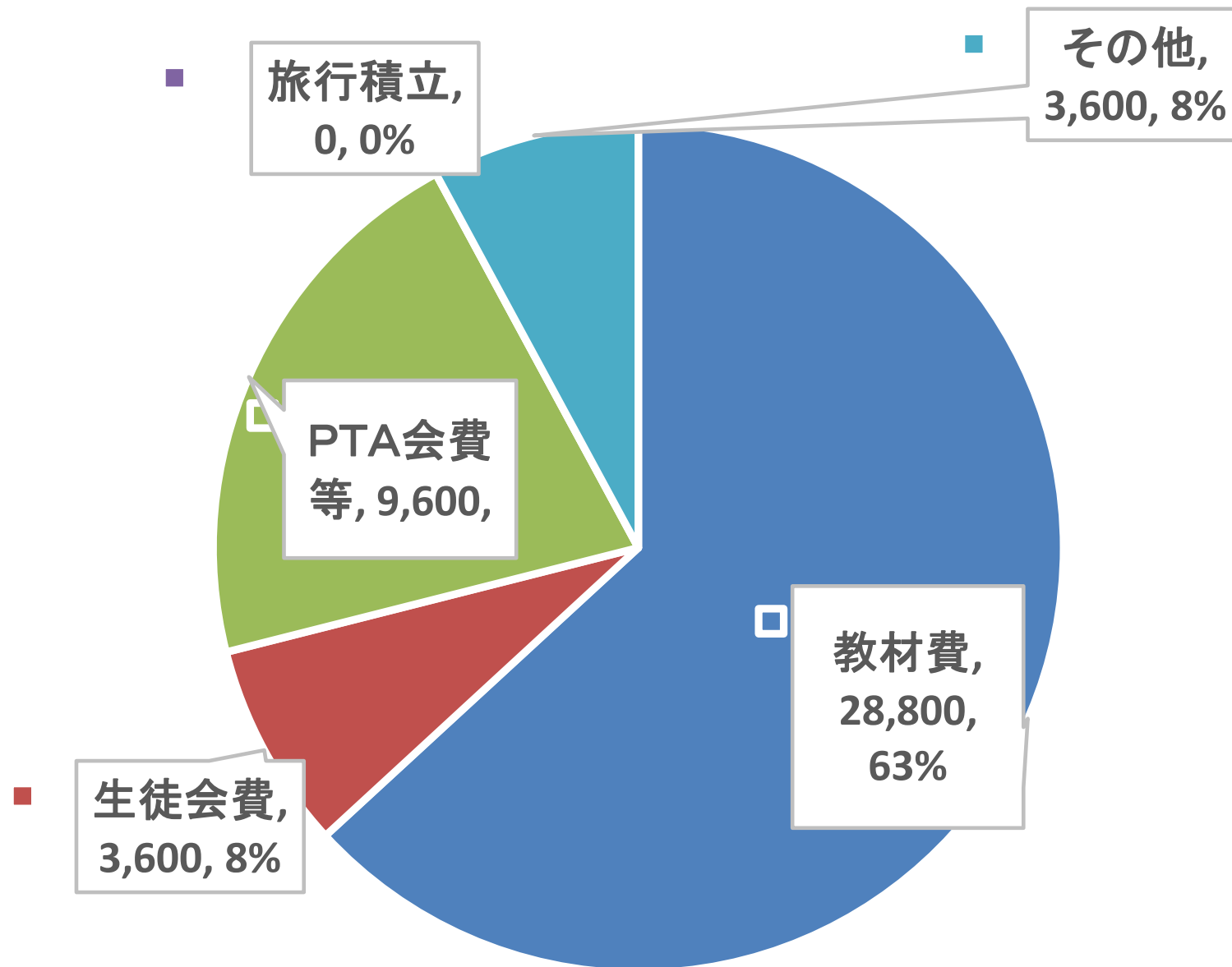
下稲吉東小



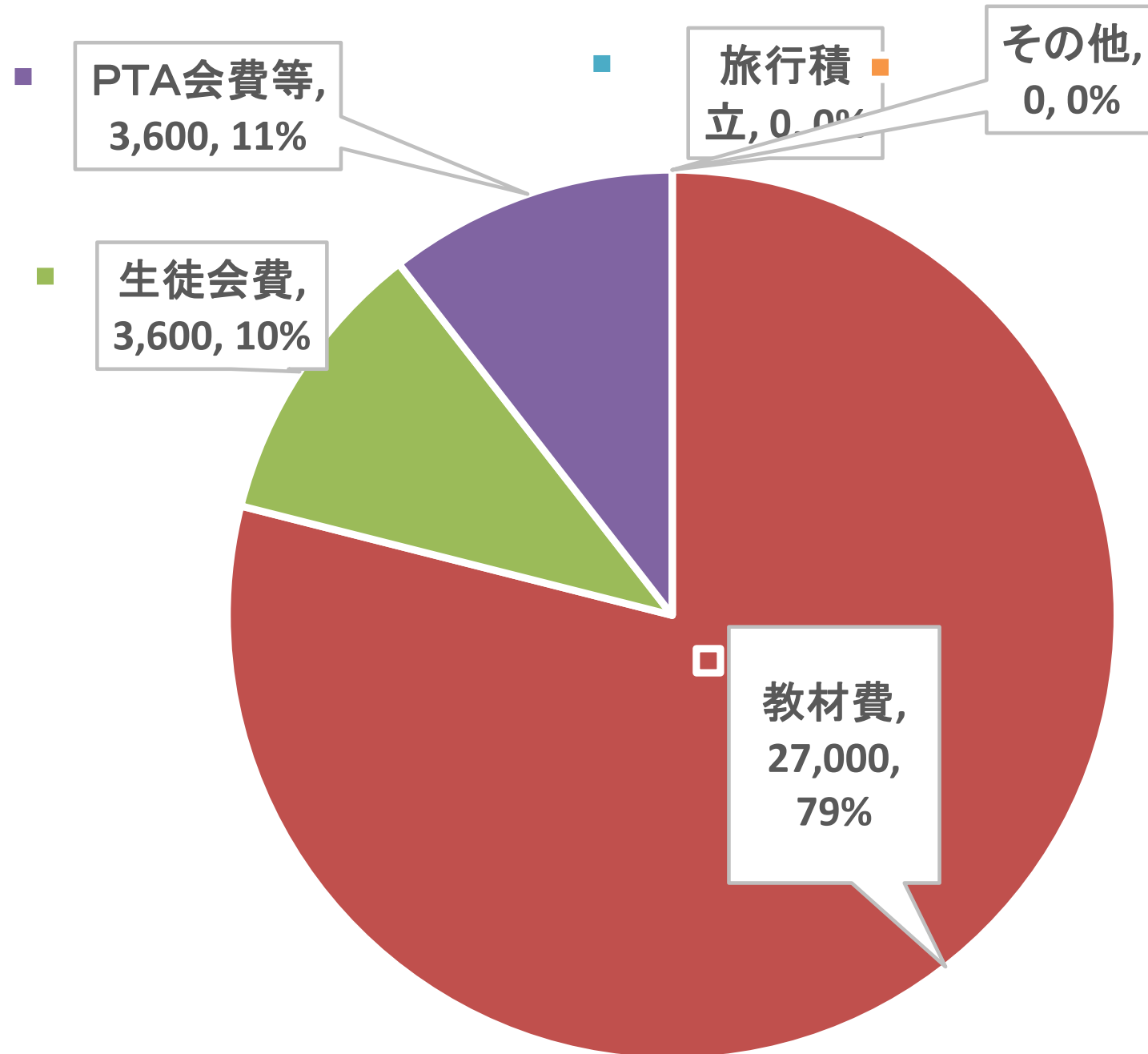
千代田義務教育《前期》



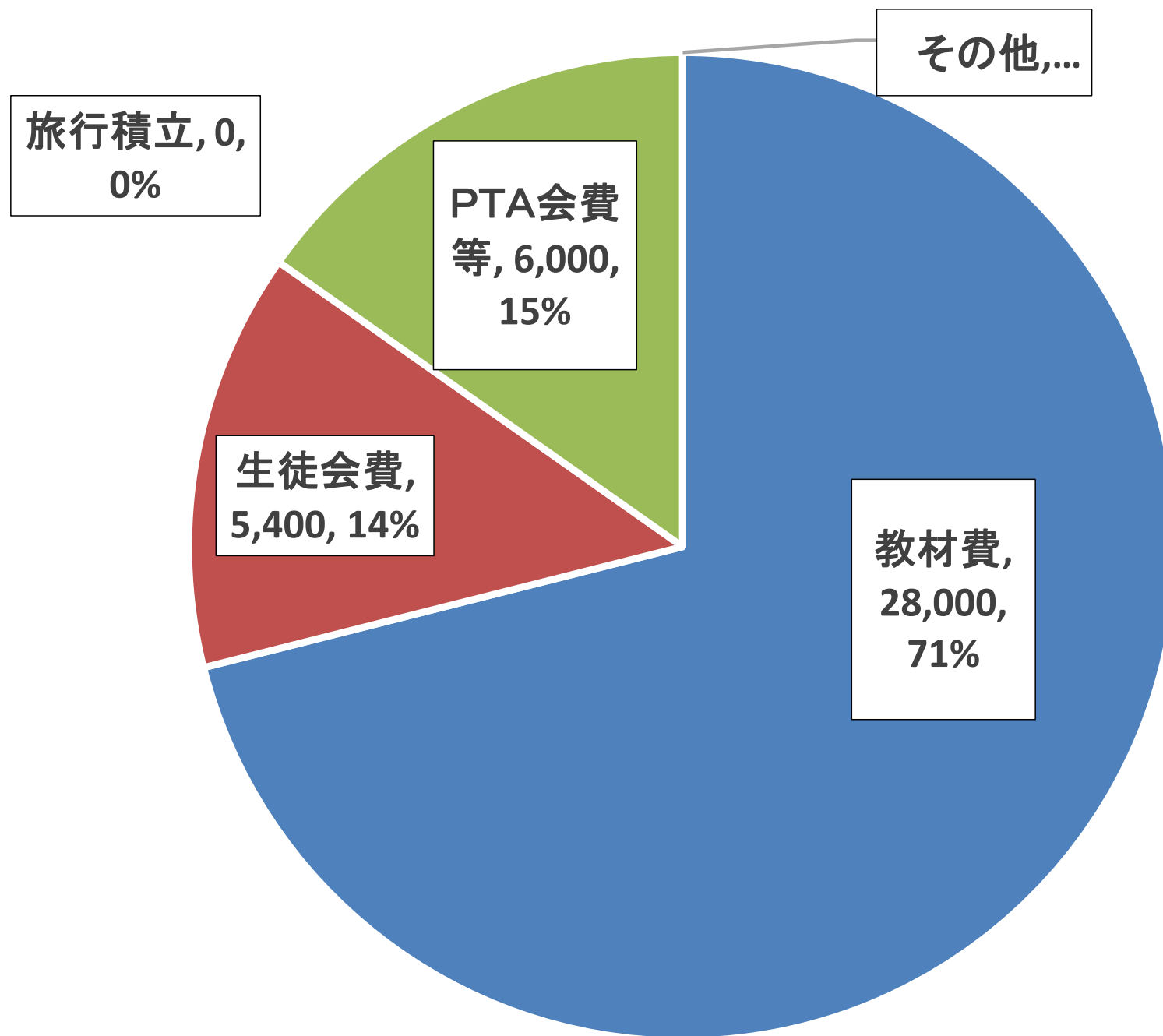
学習費調査(霞ヶ浦中)



学習費調査(下稲吉中)



学習費調査(千代田義務教育《後期》)



2023年7月24日(月)

制服引き取り格安販売、保護者に好評 茨城・つくばみらいの小絹中



PTAの呼びかけで集まった小絹中の制服=つくばみらい市絹の台

茨城県つくばみらい市絹の台の市立小絹中のPTAが、卒業生の家庭から不要になった制服を引き取り、在校生の家庭などに安く提供する「制服バンク」に取り組んでいる。家計負担の軽減にも一役買うと好評だ。PTA主催で初めての販売会が今月開かれ、保護者らが列を作った。

販売会は在校生の家庭を対象に開かれた。会場となった教室には、制服のズボンやスカート、体操服、ワイシャツ、ブラウス、通学用バッグなど約300点が並んだ。

価格は制服のズボン、スカート、ベスト、ブレザーが1点千円。ほかは1点500円。全て新品でそろえようとなると、合計10万円ほどかかることもあり、値段の安さは今のご時世では大変魅力的だ。訪れた女性(44)は「安く購入できる場があるのは助かる」と話していた。

「制服バンク」の構想が持ち上がったのは2年前。保護者の中から「制服が高くて大変」「3年たってサイズが合わなくなった」などの声がきっかけだった。制服は3年間着ても十分使えるが、卒業後は使い道がなくなり、処分に困ることが多い。成長期ゆえ、途中で買い替えが必要に

なる場合もある。

これらの悩みを解決しようと、昨年から取り組みが始まった。最初はPTA会員が知人に声をかけて制服を引き取り、不要になった在校生の制服と交換したり、転校生に貸し出したりしていた。

昨年度卒業生の家庭に声をかけたところ、制服や体操服など約70件の寄付があったという。同校PTA会長の鈴木智子さん(48)は「予想以上に集まった」と、協力に感謝した。

茨城新聞 2023年7月24日(月)付 地域総合(19面)



© 2021 THE IBARAKI SHIMBUN Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2023年2月5日(日)

茨城・笠間市 中学制服費を助成 物価高対策、1人3万円



笠間市役所本所＝笠間市中央

茨城県笠間市は、同市在住で来年度に新中学1年になる児童の保護者に、制服などの購入代金として1人3万円を助成する。1月20日の市議会臨時会で関連条例案が可決された。予算額は1950万円。物価高騰による経済的負担の軽減を目的に新型コロナ地方創生交付金を活用する。

市教委によると、対象児童は、来年度に中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程、特別支援学校の中学部などに進学する約650人。同委は「次年度以降は一般予算から財源を確保し、子育て支援の一環として事業を継続していきたい」と話している。

助成を受けるには申請が必要で3月10日が期限。問い合わせは、市教委学務課(電)0296(77)1101。

ティッピング・ポイントを超える危険が迫る事象と、負の連鎖の可能性

	「可能性」	「可能性が高い」	負の連鎖の可能性
グリーンランド氷床融解	0.8℃	1.5℃	海洋大循環の停止
西部南極氷床融解	1.0℃	1.5℃	
低緯度のサンゴ礁消滅	1.0℃	1.5℃	大気中 CO ₂ 濃度上昇
北方永久凍土の急速融解	1.0℃	1.5℃	大気中メタン濃度急増